

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第1区分
 【発行日】令和6年5月14日(2024.5.14)

【公開番号】特開2023-88418(P2023-88418A)
 【公開日】令和5年6月27日(2023.6.27)
 【年通号数】公開公報(特許)2023-119
 【出願番号】特願2021-203102(P2021-203102)
 【国際特許分類】

H 0 1 R 1 3 / 6 4 7 4 (2 0 1 1 . 0 1)

H 0 1 R 1 3 / 6 5 8 1 (2 0 1 1 . 0 1)

H 0 1 R 1 2 / 7 1 (2 0 1 1 . 0 1)

【 F I 】

H 0 1 R 1 3 / 6 4 7 4

H 0 1 R 1 3 / 6 5 8 1

H 0 1 R 1 2 / 7 1

10

【手続補正書】

【提出日】令和6年5月2日(2024.5.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0031】

端子受け部34の上面には、前後方向に延びる左右一对の第1收容溝37が形成されている。第1收容溝37の溝底面は、前後方向に延びている。第1收容溝37の前端は端子受け部34の前面に開放され、第1收容溝37の後端は端子受け部34の後面に開放されている。第1收容溝37は、全長に亘って上方へ開放されている。第1收容溝37内には、第1收容溝37の左右両内側面から突出した一对の嵌合部38が形成されている。小型 30
本体部材67を上から見た平面視において、嵌合部38は長方形をなす。嵌合部38の前面と後面は、前後方向に対して直交する平面によって構成されている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

第2端子收容部35には、上下方向に延びる左右一对の第2收容溝39が形成されている。図7に示すように、第2收容溝39は、第1收容溝37の後端から斜め下後方へ延びる傾斜溝部40と、傾斜溝部40の下端から下方へ延びる鉛直溝部41とを有する。小型 40
本体部材67を側方から見た側面視において、傾斜溝部40の溝底面は、第1收容溝37の溝底面に対して鈍角をなして連なっている。鉛直溝部41の溝底面は、第1收容溝37の溝底面と直角をなし、傾斜溝部40の溝底面に対して鈍角をなして連なっている。第2收容溝39は、上方及び後方へ開放されている。第2收容溝39の上方への開放方向は、第1收容溝37の開放方向と同じ方向である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0050

【補正方法】変更

50

【補正の内容】

【0050】

図9に示すグラフは、本実施例1の大型内導体50における特性インピーダンスと、本実施例1とは異なる形状の比較対象内導体(図示省略)の特性インピーダンスと比較をあらわす。図9において、実線は、大型内導体50の特性インピーダンスをあらわし、破線は、比較対象内導体の特性インピーダンスをあらわす。比較対象内導体の基本形状と寸法は、本実施例1の大型内導体50と同じである。両者の相違点は、大型内導体50が、第1接続部51に切欠部55を形成しているのに対し、比較対象内導体には切欠部55が形成されていない。また、大型内導体50における第1接続部51の後端部、屈曲部53及び第2接続部52の上端部の幅寸法が一定寸法である。これに対し、比較対象内導体は、第1接続部の後端部、屈曲部及び第2接続部の上端部の左右両側縁部を段差状に切り欠き、第1接続部を後方から押す形状となっている。図9に示すように、大型内導体50の特性インピーダンスの変動幅は、比較対象内導体の特性インピーダンスの変動幅よりも小さく抑えられている。よって、大型内導体50の通信性能は、比較対象内導体に比べると安定し、優れている。

10

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0060

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【0060】

大型内導体88の基本形状は、実施例1の大型内導体50と同じである。大型内導体88の第1接続部89には、位置決め用係止孔90と公差吸収用係止孔91とが前後方向に間隔を空けて形成されている。位置決め用係止孔90の平面視形状は、円形である。位置決め用係止孔90の内径は、係止突部86の外径と同じ寸法である。公差吸収用係止孔91の平面視形状は、前後方向に細長い長円形である。公差吸収用係止孔91の左右方向の幅寸法は、係止突部86の外径と同じ寸法である。公差吸収用係止孔91の前後方向の長さ寸法は、係止突部86の外径よりも大きい寸法である。第2接続部92は、第1接続部89の後端から斜め下後方へ延出している。

30

40

50